

市政を問う

一般質問

9月定例会における市政に関する一般質問は、9月1日、2日、3日に行われ、12人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。
(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は11月25日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



創造みらい半田
芳金秀展

持続可能なまちづくりに必要な開発目標SDGsの活かし方

問 総合計画に盛り込んだSDGsの各種ゴールを、今後策定される各種計画にどのように落とし込んでいくのか伺います。

答 16程ある各種計画の策定に、指標を紐づけていくようサポートしバックキャストイングによる進捗管理を徹底していくと共に、SDGsを横串に他分野の見識を深め、相乗効果を出していきます。

問 SDGsに取組んでいる企業や団体に対しインセンティブ(誘因効果)を与え、推進を促すことを検討するべきだと考えますがいかがですか。

答 企業の取組みを入札の評価項目にするなど検討していきます。
問 環境基本計画の中でゼロカーボンシティをどのような位置づけでSDGsの目標達成に貢献させるのか伺います。

答 SDGs 13番の目標である「気候変動に対する具体的な対策」と7番の目標「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」に対応させ、取組んでいきます。

第2次環境基本計画に対する方向性

問 再生エネルギーの促進とありますが、公共施設での利用の計画はありますか。

答 企業へ進めていく上でも、公共施設としてメリット、デメリットのバランスを見ながら積極的に進めていきます。

問 自治体新電力など新しい挑戦についてどのように考えますか。

答 自治体新電力に取組むべく、先行する自治体新電力事業者の経営状況などの情報収集に努め、調査・研究を進めていきます。

問 バイオマス産業都市構想は半田市の特色に合致した施策であると思いますが、今後の見解を伺います。

答 自治体として事業者と共に取組めるか検討していきます。



無所属
鈴木健一

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や対応

問 半田市の感染者の症状の内訳を把握していますか。

答 県の所管事項となり十分な情報が得られない状況です。

問 市民の不安を減らすためにも県に情報の提供を要望するべきではありませんか。

答 半田市としても要望してはきましたが、情報がいただけません。

問 自宅待機している軽症者は何人ですか。

答 公表されていません。公表されられません。

問 半田市でPCR検査の体制を作る考えはありますか。

答 現在、感染症法により、都道府県及び保健所設置市が実施することとなっており、半田市が主体となって実施はできません。

問 子どもと高齢者のワクチン接種の状況をおたずねします。

答 昨年のインフルエンザの予防接種では、

65歳以上の方で48・2%、乳幼児期に接種する「麻疹・風しん混合接種」の接種率は98%、学童期に接種する「ジフテリア・破傷風混合接種」の接種率は52・2%となります。

問 これから冬にかけてインフルエンザの流行が見込まれます。ワクチン接種をコロナ対策費として、予算化するべきと考えますがどうですか。

答 全市民に接種できる数のワクチンが確保できないので、高齢者の方を重点的に接種していきたいと考えていますが、予算化する考えはありません。

問 無症状だが、感染している方を見つけるためにも、介護や医療現場で働く方々に対して定期的にPCR検査を行う考えはありますか。

答 県の方針として症状がある方を検査するとなっています。

問 市長として、一歩踏み出して、検査体制をとる考えはありませんか。

答 公費を使つての検査があると考えます。

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)